



未来共生デザインセンター 2025年度末 公開成果報告会

2026年

2月 27日 金

13:30 ~ 17:10

三田キャンパス 南館 地下4階
ディスタンスラーニング室

開会の挨拶：梅田 聰（社会学研究科 委員長）

第1部 人間知性クラスター	(座長：峯島 宏次)	13:35~14:35
・ 『自律神経反応と内受容感覚から見る主観的ストレス』	田仲 祐登（本センター）	
・ 『ユーモアの生成：大規模言語モデルによる検討』	柴田 みどり（本センター）	
・ 『来るべき者たちとの共生可能性について』 — その条件と形態をめぐる短い思弁 —	柏端 達也（文学部）	
第2部 環境適応性クラスター	(座長：皆川 泰代)	14:50~15:50
・ 『説得AI研究始めました』 — 定量的な個別的研究のスケールアップを目指して —	平石 界（文学部）	
・ 『工学系ツールを駆使したクロスモーダル研究』	三木 則尚（理工学部）	
・ 『対人相互作用における情報統合プロセスへの ロボットを用いた操作的アプローチ』	森本 智志（本センター）	
第3部 價値創造性クラスター	(座長：川畠 秀明)	16:05~17:05
・ 『非自発的精神科入院をめぐる親の経験とケアの語り』 — 日本における家族・ケア・強制の考察 —	櫛原 克哉（東京通信大学）	
・ 『絡み合う人と自然の関係史に挑む』 — ポリネシアのプカプカ環礁を事例にして —	山口 徹（文学部）	
・ 『社会・文化へのエンゲージメントがもたらす高齢者のウェルビーイング』 — 文化と健康をつなぐ開発的アプローチ —	川畠 秀明（文学部）	

閉会の挨拶：皆川 泰代（未来共生デザインセンター センター長）